



# おやこであそぼう

～ 絵本と、わらべうたの時間 ～

2019年1月16日



☆～ 今月の絵本と紙芝居 ～☆

おいちのの だーるまさん (福音館書店) 作:こばやしえみこ/絵:こいでやすこ

ぴーぴー ぱっくしまーす (福音館書店) 作・絵:かたやまけん

だるまさんが/だるまさんの/だるまさんと (ブロンズ新社) 作・絵:かがくいひろし

おいっちに おいっちに (福音館書店) 作・絵:柚木沙弥郎

いただきますあそび (偕成社) 作・絵:きたやまようこ

いただきまーす (偕成社) 作:こばやしえみこ/絵:こいでやすこ

のりまき (偕成社) 作・絵:小西英子

おにのパンツ (ひさかたチャイルド) 作・絵:鈴木博子

おにはそと (金の星社) 作・絵:せなけいこ

おにがでた! (偕成社) 作:木村裕一/絵:田中四郎

ちいちゃんとまめまき (ほるぷ出版) 作・絵:しみずみちを

泣いた赤おに (偕成社) 作:浜田廣介/絵:梶山俊夫

これなにになに?～紙芝居～ (教育画劇) 作・絵:山本祐司

おふくさん/おふくさんのおふくわけ (大日本図書) 作・絵:服部美法



☆～ 今月のうた ～☆

♪まめまき

おにはそと ふくはうち

ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと

おには こっそり にげていく

おにはそと ふくはうち

ぱらっ ぱらっ ぱらっ ぱらっ まめのおと

はやく おはいいり ふくのかみ

♪こぎつね

こぎつね こんこん やまのなか やまのなか

くさのみつぶして おけしょうしたり

もみじのかんざし つげのくし

こぎつね こんこん ふゆのやま ふゆのやま

かれはのきものじゃ めうにもぬえず

きれいなもようの はなもなし



♪もちっこやいて

もちっこやいて とっくらきやあしてやいて

しょうゆをつけて たべたらうまかるう



☆～ 「いただきます」のお話 ～☆

2019年も1ヶ月の半分が過ぎました。おせち料理に始まり、食べ過ぎたり、お酒を飲んで疲れた胃を休めるための七草粥(1月7日)、鏡開きで作ったお汁粉(1月11日)、小正月(1月15日)や二十日正月の(1月20日)の小豆粥など、暦に合わせた行事食というものが日本にはあります。今は日本は寒い時季ですので、身体を中から温めたりなど、それぞれの意味や効能があるそうです。

お正月に限らず、私たちは「いただきます」と言ってお食事をします。小さい頃から、家族の言葉を聞いて、自然に習慣づけられていますが、形ばかりになっていることも多いようです。

カトリックには「食前の祈り」があります。

『父よ、あなたのいつくしみに感謝して、この食事をいただきます。

ここに用意されたものを祝福し、わたしたちの心と体を支える糧としてください。』

この祈りの中の「父」は神様のことです。お家での食事なら、お母さんが作ってくれたとわかりますが、給食や外での食事では、その食事作りに携わった人の顔は、殆ど見えません。それでも「いただきます」という言葉で、見えない神様だけでなく、食事を作ってくれた目に見えない人たちにも感謝することができます。

さて、仏教の浄土真宗をご存知の方、また我が家は浄土真宗だわという方も多いと思います。浄土真宗本願寺派には「食事のことは」というものがあるそうです。

『多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

深くご恩を喜び、ありがたくいただきます』

私たちの食事は「多くのいのち」を頂くことによって成り立ち、調理してくれた人、食材をとったり、運んでくれた

「みなさまのおかげ」で食事が用意され、阿弥陀如来の「ご恩」を味わい、感謝して食事を頂くということだそうです。

祈りの本質には違いがあっても、「感謝して美味しく頂く」気持ちや姿勢は同じです。

いつもそんな気持ちで、家族で、お友達と、色々な人たちと美味しくお食事しながら、楽しいお喋りも一味添えて、さらに楽しい食事の時間にしたいですね。

お風邪をひかないように！



次回は 2019年 2月20日 (水)

お問い合わせ クリスト・ロア修道院

TEL 042 (465) 8620